

《第18回Wリーグ開幕会見 コメント》



JX-ENEOSサンフラワーズ

【トム・ホーバスヘッドコーチ】

JX は8年間優勝したがいろいろな重圧はある。優勝することは当たり前ではなく非常に難しいこと。選手が当たり前の気持ちでいるのは良くないので、細かいことをしつこく言っている。

【#0吉田亜沙美キャプテン】

私がやることは去年と変わらずチームを引っ張っていくこと、そして、若い選手を成長させるために私が今まで経験したことを伝えていくこと。HC の思い描いているバスケットにどれだけ近づけるかだと思うので、そこを目指して頑張ってやっていきたい。また、観ている方々へ感動と勇気を与えられるようなチームになっていきたい。



富士通レッドウェーブ

【小滝道仁ヘッドコーチ】

今シーズンもファイナルの舞台に立つのが目標。去年まで出ていなかったプレイヤーがどれだけプレータイムを多くできるかということが一つのポイントになる。苦しい時間帯に個人の時間帯ばかりになってしまっていたので、これからまたワンステップ、ツーステップと上がっていけるように求めていきたい。

【#10町田瑠唯キャプテン】

去年、大事なところでのリバウンドやシュートを決めきれなかったということが敗戦の原因だとは思いますが、去年のチームは波が激しく悪い時に個々になってしまいチームとして戦えなかった部分があるので、今年はしっかり悪い時こそチームが一つになって全員で戦っていけるようにしていきたい。

《第18回Wリーグ開幕会見 コメント》



シャンソン化粧品 シャンソンVマジック

【丁海鎰ヘッドコーチ】

去年はシーズン前にけが人が多く失敗したが、その中で選手みんなが頑張り3位で終わったが、今年の現状では順調に選手みんな頑張っている。今年の私の考えは、シャンソンの強いバスケットを皆さんに見せて、もっと上を目指して頑張りたい。

【#8藤吉佐緒里キャプテン】

自分たちのバスケットは組織的なバスケットだと思うので、代表組も合流しただまだこれからだと思う。昨シーズンもリーグを通して成長していったように今シーズンもやっていきたい。



デンソーアイリス

【小嶋裕二三ヘッドコーチ】

選手の入れ替えがあったので、ファイナルに立ちたいのはもちろんだが、今は一つ一つ経験を積みながら、チーム力を上げていく時期かと思っている。今は手さぐり状態だが、バスケット全体が追い風に乗っていると思うので、デンソーアイリスとしてもその風に絶対乗り遅れないようにしたい。

【#8高田真希キャプテン】

やることは今まで一緒だと思っているので、それにプラス今年はキャプテンなので、良いことも悪いことも思ったことは口に出してやっていきたい。チームの中では自分が一番いろいろなことを経験させてもらっているなので、プレーでもプレー以外でも柱となれるように頑張っていきたい。

《第18回Wリーグ開幕会見 コメント》



トヨタ自動車アンテロース

【Donald Beck ヘッドコーチ】

1年目の昨シーズンはとても興味深く、私自身としてもいろいろと学ぶ年でありとてもやりがいのあるチームだった。去年の結果からさらに今年は上につながるように頑張っている。去年とスタイルは似たような形になると思うが、チームが成功するためにもう少し向上すべきところをしっかりと向上するようにしていきたい。

【#1大神雄子キャプテン】

(HC が外国人のため)練習の雰囲気づくりという部分では(言葉の問題もあり)すごく大変な部分があったが、2年目になりバスケット選手というよりは英語力を身に着けるといった部分でみんなに様々な変化が見られたことは、一番大きな出来事だった。リーグと選手がコミュニケーションを取るなどしてより良いリーグになっていくことが、オリンピックでの今回の盛り上がりをもっと大きくなることなのではないかと思う。



トヨタ紡織

サンシャインラビッツ

【中川文一ヘッドコーチ】

チームづくりはずっと同じだが、去年は上位のチームに全く歯が立たなかった。その原因は、守りが簡単に崩され、速攻でもやられてしまっていたので、守りをしっかりやって、オフェンスに移りたい。

【#33長部沙梨キャプテン】

今シーズンキャプテンとして2シーズン目ということで、プレーはもちろん、精神的にもプレー的にも引っ張っていきたい。チームの状況が悪い時には私が声をかけるなどプレーに変化をもたらすことを特に意識している。

《第18回Wリーグ開幕会見 コメント》



三菱電機コアラーズ

【古賀京子ヘッドコーチ】

昨シーズンより若いチームになり経験が少ないので、試合経験を豊富にして戦おうとしている。春先から基礎基本を徹底してやっている。

【#6櫻木千華キャプテン】

昨シーズンの結果を踏まえ、自分たちはフィジカルの強さと粘り強さという部分が足りなかったと分かっていたので、その部分はしっかりと取り組んできた。キャプテンとしてチームのことを第一に考え、若い選手の多いチームをどう精神的に支えるかといったように、コートの中でもコート外でもしっかり自分が中心になって引っ張っていけるようにと考えている。



アイシン・エイ・ダブリュ ウィングス

【一色建志ヘッドコーチ】

試合経験がないのと、年齢的にも少し若いので、実践的なことを踏まえて、明るく前向きにバスケットを本当に楽しんでもらえるように取り組んでいる。一戦一戦勉強しながら、今まで自分が経験したことを全て選手に伝えながら、なおかつ自分自身も勉強しながら、チームのレベルアップを図っていきたい。毎試合日替わりでヒーローが出てくれたら嬉しい。

【#6田中真樹キャプテン】

(最年長として若手中心のチームを率いていく中で、)個々が受け身にならずに自分から行動できるようにということを考えてやっている。試合を重ねるごとに自分からという気持ちがどんどん出てきていることは良いことだと思う。

《第18回Wリーグ開幕会見 コメント》



羽田ヴィッキーズ

【古田 悟ヘッドコーチ】

昨シーズンの目標まではあと一歩出前だったが、スタッツ含めてチーム全体としてはオフェンス、ディフェンスとも少しずつ改善された。9位という結果に終わってしまったので、そのアベレージを改善すれば次のステップに進める。チーム内での競争意識があるので、シュート確率が上がったたり良いディフェンスが出来てきている。

【#15落合里泉キャプテン】

ディフェンスの面を毎回の練習の話し合いで厳しく言われているので、チームとしてしっかり守るということと、一対一やられたとしてもヘルプに必ず入るなどの意識を強く持っている。常にキャプテンとしてどんな時も先頭に立って、仲間に声を掛けるということは常に心掛けている。



日立ハイテククーガーズ

【藪内夏美ヘッドコーチ】

今年もメンバーが大きく変わったので、またゼロからの気持ちで春から取り組んでいる。得点力不足をしっかりとチームの課題として持つことで、シュート練習の方法などをこだわってやってきており、それは数字にも表れている。

【#1八木香澄キャプテン】

昨シーズンは外ばかりのオフェンスになってしまっていたが、今シーズンは大型の選手も入ってきたのでインサイドのプレーでも得点を重ねていきたい。

《第18回Wリーグ開幕会見 コメント》



新潟アルビレックスBBラビッツ

【小川忠晴ヘッドコーチ】

シーズンは試合経験がない選手を試合の中で成長させる、また、シーズンを通して人間としてもプレイヤーとしても成長させることをまず前提においてチーム作りをしている。今シーズン何かが違うということを皆さんに見せたい。一人ひとりがキーマンとなって試合に臨んでしっかりと結果を出してもらいたい。

【#0梅木智加子キャプテン】

自分が得点に絡むことも重要だが、周りの選手にいかに気持ちよく得点を取らせるようなプレーをしていきたい。昨シーズンは一勝もできなかったということで、昨シーズンを経験している選手は悔しい気持ちをバネにして今シーズンに臨んでおり、それを知らない選手にも勝ちにこだわることを選手全員に伝える様にしている。



山梨クィーンビーズ

【山本亮太ヘッドコーチ】

強いチームばかりなので胸を借りるつもりで思い切ってぶつかって行きたい。激しいディフェンスが常にできて相手にプレッシャーをかけられるようなバスケットが展開できればと思い一生懸命練習しているので頑張っていきたい。

【#23横井美沙キャプテン】

Wリーグでの経験が少ないからこそチームが一つにまとまって戦うことを意識している。応援・支援して下さる方々への感謝の気持ちを忘れず、挑戦者らしく精一杯全力で戦いたい。